



福岡県優秀技能者知事表彰受賞祝賀会

お客様の笑顔をみるこことが最大の喜び
より良い製品を探求していききたい

有限会社丸惣

酒見 國之さん

(平成24年度福岡県版現代の名工)

昭和四十一年のことだった。父は十八歳の國之さんに、木工道具一式を与えた。のみ、かん、キリ、のこ、などだ。そして父は唐突にこう話した。「おまえは教育を受けているのだから、自分ひとりで家具を作れ！」

当時の大川は量産家具への移行期。まだ、徒弟制度の雰囲気が残っており、職人たちもまだ大勢いた時代だ。

國之さんは独学で家具造りに挑戦していった。当初、漠然とした気持ちで家具造りに取り組んでいたが、徐々におもしろくなってきたという。「形のないものから製品を作りあげていくのは興味深い！」

探究心と挑戦する心が芽生えていった。ひたむきに取り組むようになった。

試行錯誤の年月が流れた。二十二年が過ぎた。そしてやっと「他の企業と肩を並べた」という実感を持たたという。東京の大手百貨店との取引も始まった。

有限会社丸惣の製品は、その技術力に定評がある。オリジナル家具から色やサイズを変更するセミナーまで、あらゆる収納家具を製作している。寸法の狂いのない精緻な造りが特長だ。今回の「現代の名工」の受賞はそれを裏打ちしている。受賞歴もすごい。福岡県優秀技能者知事

